

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公開番号】特開2006-45211(P2006-45211A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2005-194534(P2005-194534)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 471/04 1 1 2 Z

C 0 7 D 471/04 C S P

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/22 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月18日(2008.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

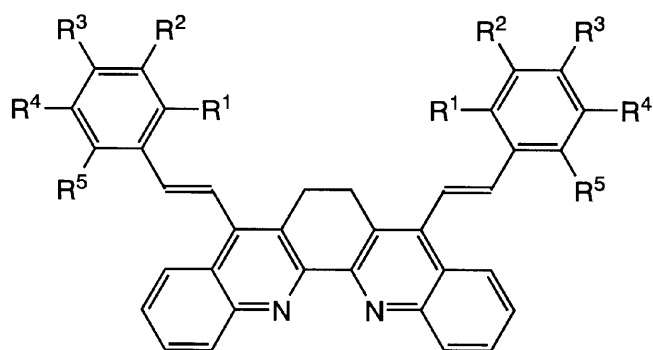
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式(1)で表されるフェナントロリン誘導体。

【化01】



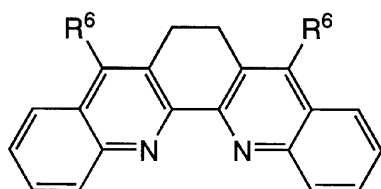
(1)

(式中、R<sup>1</sup> ~ R<sup>5</sup> は、水素、炭素数1 ~ 4のアルキル基、またはハロゲン基のいずれかを表す。)

【請求項2】

一般式(2)で表されるフェナントロリン誘導体。

【化02】



(2)

(式中、R<sup>6</sup>はアルケニル基を表す。)

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載のフェナントロリン誘導体と、アルカリ金属及びアルカリ土類金属から選ばれる少なくとも一の元素とを含む層を有する発光素子。

【請求項4】

請求項3に記載の発光素子を有する発光装置。

【請求項5】

請求項3に記載の発光素子を含む画素部を有することを特徴とする発光装置。

【請求項6】

請求項4または請求項5に記載の発光装置を表示部に用いていることを特徴とする電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

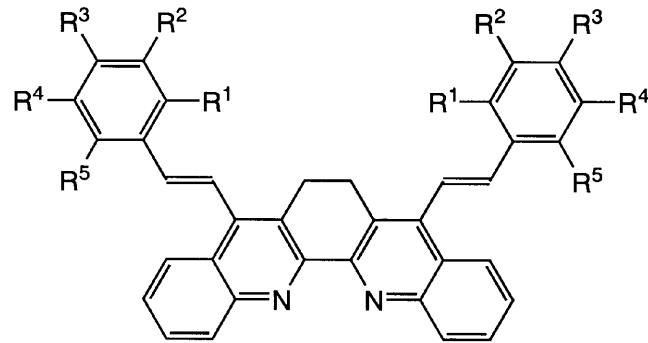
【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【化01】



(1)